

高等学校 令和4年度（1学年用） 教科 福祉 科目 生活支援技術

教科： 福祉 科目： 生活支援技術 単位数： 4 単位
 対象学年組： 第 1 学年 4 組～ 組

使用教科書： （実教出版：生活支援技術、中央法規：生活支援技術Ⅰ・Ⅱ）

- 教科 福祉 の目標：
- 【知識及び技能】 福祉分野の専門職として根拠に基づいた技術を知識と技能が融合でき支援できる動作が培う。
 - 【思考力、判断力、表現力等】 個々の生活に関連課題に関連した課題を明確にすることで、専門職としての意識を育む。
 - 【学びに向かう力、人間性等】 他者理解を深めるためにも自身に置き換え考察することができ、共に生活力を向上できる。

科目 生活支援技術 の目標：	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
主体的な生活支援が行えるよう体験学習を通し、専門職としての視点を育むことができる。技術は根拠に基づいて行われていることが理解できる。	一連の技術支援を言語化することができ、支援における際のポイントなどの留意点に用語色別、文書構成力を向上することができる。	自身の生活力を高める努力を養い、段階的な成長ができるよう専門職としての意識を培え、自律に向けた人間性を育成することができる。	

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学期	第1章 生活支援の理解（検定） 第1節 活に視点を置く 第2節 活支援の考え方 【知識及び技能】 基礎知識であるからだの仕組み機能、役割を理解でき、専門的な技術支援を用いていることがわかる。 【思考力、判断力、表現力等】 体験から気づきの視点を専門用語を用いて、表現（言語化）できる。 【学びに向かう力、人間性等】 自らも生活支援者としての自覚を持ち、課題意識をもって生活に取り組める。	「指導事項」 自己の生活を理解し不自由を体験 「演習」 ①高齢者の擬似体験 P199 ②視覚障害者疑似体験 ③車いす体験 P52 ⑤ベットでの突起のあたりを体験 ⑥いろいろな福祉用具の体験 「講義」 1) 日常生活の理解 P2～17 2) 生活支援の考え方 P14 ①車椅子の名称、操作、点検方法 ②ベットの名称、操作、点検方法 ③基本的な姿勢 ④体験を通し、行動を意識化する ⑤専門職としての意識を高める ※専門的視点、気づきの言語化	【知識・技能】 基礎知識であるからだの仕組みが理解でき、体の機能、役割を知ることができる。 【思考・判断・表現】 体験から得た気づきの視点を言語化して表現することができる。	○	○	○	4
	定期考査		○	○		1	
	第4章 移動の介護（検定） P72 第1節 移動意義と目的 P87 第2節 移動・移乗における介護技術 1 移動・移乗の介護の基本的理解 副教材：生活支援技術Ⅰ P87 中央 第8章 睡眠の介護（検定） P122 副教材：生活支援技術Ⅱ P227 中央	「指導事項」 基本的な技術手順の習得 「演習」中央法規： 1) シーツのたたみ方 P239 2) ベットメイキング P227 ※実技試験 5分 ①ボディメカニクス P89・検76 ②安楽な体位 P120 ③杖歩行、用具体験 ※実技試験 5分	【知識・技能】 用具の特徴を把握し、基本的動作が習得でき、利用者の方に合わせた技術を提供できる。 【思考・判断・表現】 体験から得た気づきの視点を言語化して表現することができる。	○	○	○	9
	【知識及び技能】 用具の特徴を把握し、利用者動きに合わせた技術支援がわかる。 【思考力、判断力、表現力等】 利用者の方の動きに合わせて、一動作一声かけを行い安全に誘導できる。 【学びに向かう力、人間性等】 専門職としてのかかわる際の意識、責務が発生するがわかる。	「講義」 I 1) 睡眠環境について 検・P122 ①睡眠の意義と目的 P340 ②安楽な体位、安眠の条件 P337 ③褥瘡の原因、予防 P134 ボディメカニクス P133 ④長期臥床（廃用症候群）P99 ⑤道具・用具 P139	【思考・判断・表現】 ボディメカニクスを活用し、介護者ともに身体に負担がかからない支援の在り方を考え、動きを修正することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 支援をイメージすることができ、自己の動作を修正できる能力を習得することができる。	○	○	○	4
定期考査 夏休み 期間中（実習 10日間）	夏休み課題		○	○		1	
2 学期	第3章 身支度の介護 P62 第1節 身支度の意義と目的 3、衣類の着脱 P70 副教材：衣類の着脱の介助 P47 浴衣の交換 P64 第1章 家庭生活関連の基本知識 第1節 家庭生活の理解 第2節 家庭生活の営み	「指導事項」 しわを作らないシーツ交換 「演習」 II 1) シーツ交換（試験） 2) 体位変換 3) 衣類の着脱練習導入 4) トロミ体験 ①とろみの役割、食感の違い	【知識及び技能】 衣服の素材がわかり、季節や活動に合わせた衣類を選ぶことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 利用者の方の動きに合わせて、一動作一声かけを行い安全に誘導できる。 【学びに向かう力、人間性等】 活動に合わせ衣服選び、個人の好みを尊重した選択を理解できる。	○	○	○	13
	【知識及び技能】 衣服の素材がわかり、季節や活動に合わせた衣類を選ぶがわかる。 【思考力、判断力、表現力等】 利用者の方の動きに合わせて、一動作一声かけを行い安全に誘導できる。 【学びに向かう力、人間性等】 活動に合わせ衣服選び、個人の好みを尊重した選択を理解できる。	「講義」 検定P66 中央P225 1) 身支度としての意義と目的 ①利用者に合わせて衣類の選び方 ②場所に合わせた服選び ③衣類の性質、手入れの仕方 4) 衣類のたたみ方 2) 紙おむつの種類、機能 ①床上でのあて方 ②立位で背面からの当て方	【学びに向かう力、人間性等】 活動に合わせ衣服選び、個人の好みを取り入れた選択することができる。	○	○	○	15

3 学 期	第1章 居住環境の整備 検定P36 中央P32 第1章 居住環境整備の意義 P36 第2節 安心で快適な生活の場 P40 【知識及び技能】 快適な生活空間としての「場」とし 居場所としての住まいがわかる。 【思考力、判断力、表現力等】 生活導線をイメージでき、安全な居住空 間をわかる。	講義 ①基本的な人権 ②バリアフリーについて P37 ・各自、各家のバリアについて ③福祉用具の活用方法 P37・P98 (ユニバーサルデザインについて) ④居住環境整備の意義と目的P68～ ⑤介護保険について ・住宅改修と福祉用具 ・申請の流れと活用	【知識及び技能】 住居の役割がわかり、快適な空間を整備 するため介護保険制度活用が理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 安全な居住空間をイメージでき、リスクを 予防できる能力を養うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自己の生活環境に置き換えてイメージする ことができ、居住空間を考察できる。	○	○	○	17
	【学びに向かう力、人間性等】 生活をイメージすることができる、 自己の生活環境がわかる。						